

OKAMURA REPORT

第85期 中間報告書 2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日 | 証券コード：7994



okamura

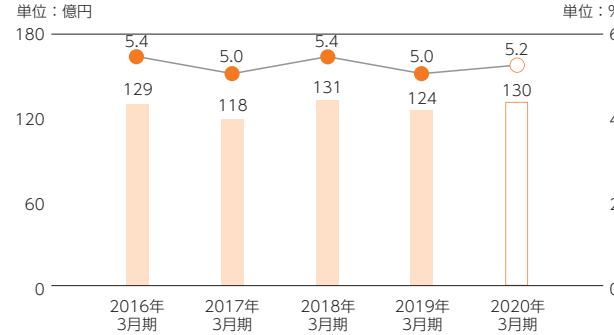
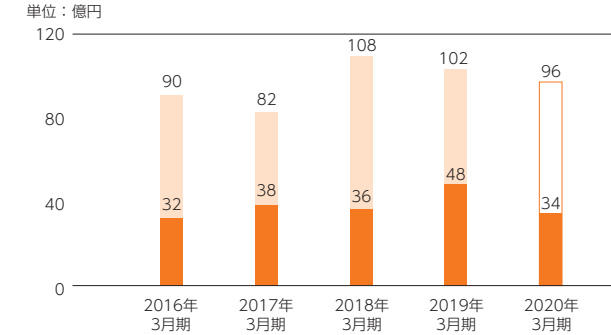
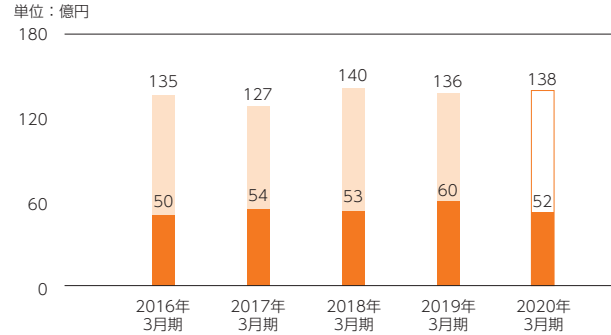
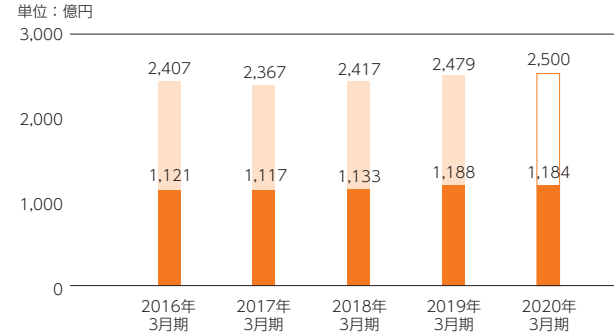
OKAMURA At a Glance

第85期 第2四半期
決算のポイント

- オフィス環境事業は東京23区の大規模物件を着実に受注。
- 物流システム事業は物件端境期ながら自動化需要が旺盛で増収。

● 商環境事業は諸経費回収などで粗利益率が改善し増益。

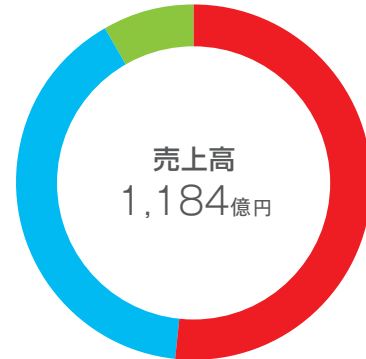
第85期 第2四半期 決算ハイライト (連結)



▶ より詳細な決算情報は、右記のQRコードよりアクセスいただき、当社IRトップページからご覧いただけます。



事業別ハイライト



	売上高構成比	売上高	営業利益
■ オフィス環境事業	51.9%	614億円	28億円
■ 商環境事業	39.9%	472億円	9億円
■ その他 (物流システム事業他)	8.2%	97億円	7億円

上半期 ニュース & トピックス

- 4月**
 - 「IWORK MILL with Forbes JAPAN ISSUE 04」 発刊
- 5月**
 - 「アジア・シームレス物流フォーラム2019」 出展
 - 「VMARK INTERIOR DESIGN WEEK2019 (ベトナム)」 出展
 - 「自治体総合フェア2019」 出展
 - 「第6回働き方改革EXPO」 出展
- 6月**
 - 「スマートファクトリーJapan2019」 出展
 - 「NeoCon2019」 出展 [詳細はP5へ](#)
 - 学習家具商談会「オカムラホームファニチャー2020」 開催
 - 「第2回学校施設・サービスEXPO」 出展
 - エヌエスオカムラが令和元年度「できることからECOアクション」 表彰受賞
 - 株式会社ワーク・ライフバランスの「男性育休100%宣言」に賛同
- 7月**
 - 「インターフェックスWeek 2019 第1回ファーマラボEXPO」 出展
 - 「フードストアソリューションズフェア2019」 出展
 - 空間データの協創プラットフォーム「CRESNET」を活用した未来のオフィス空間「point 0 marunouchi」 開設 [詳細はP7へ](#)
 - 「国際モダンホスピタルショウ2019」 出展
 - NYデザインセンターにて「firstLOOK2019」 参加
 - 「オカムラデザインスペースR 第17回企画展」 開催
 - 奥卡姆拉 (中国) 有限公司にて新製品発表会開催
- 8月**
 - 「ホワイト物流」 推進運動の自主行動宣言提出
 - ロビーチェア「L8K2」 シリーズがキッズデザイン賞受賞
- 9月**
 - 「第25回ICOM (国際博物館会議) 京都大会2019ミュージアム・フェア」 出展
 - 「2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展」 出展 [詳細はP6へ](#)
 - 「JASIS2019」 出展 [詳細はP6へ](#)
 - 「メゾン・エ・オブジェ・パリ2019年9月展」 出展協力
 - 「第46回国際福祉機器展」 出展

コーポレートメッセージ

豊かな発想と
確かな品質で、
人が集う
環境づくりを通して、
社会に貢献する。



代表取締役 **中村 雅行**

この度の台風及び豪雨などの自然災害により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

当第2四半期の概況について

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、雇用・所得環境は高水準を維持し、景気は緩やかながら拡大基調で推移したものの、外需の低迷などを背景に業況感の悪化が見られるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、特徴ある製品づくりやトータルソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努

めるとともに、生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高118,429百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益4,542百万円（前年同四半期比13.3%減）、経常利益5,220百万円（前年同四半期比14.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,420百万円（前年同四半期比29.2%減）となりました。

事業別セグメントの概況について

▶ オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、大規模オフィスビル

の安定的な供給を背景にオフィスの移転需要及びリニューアル需要は堅調に推移いたしました。また、働き方改革など新しいオフィスづくりへの動きは、業種・規模を問わず全国の幅広い企業層に広がっております。このような状況のもと、新しい働き方や環境を実践・検証する実験オフィス「ラボオフィス」での実証結果や自社での働き方改革における様々な施策の実践により得られた知見を活かし、新しいオフィスづくりの提案を積極的に展開いたしました。人件費の増加、物流コストの上昇等もあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は横ばい、利益は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、61,428百万円（前年同四半期比0.5%減）、セグメント利益は、2,878百万円（前年同四半期比23.5%減）となりました。

▶ 商環境事業

商環境事業につきましては、小売業を中心とした新規出店需要は減少傾向にあるものの、人手不足を背景とした省人・省力化関連の需要拡大と併せて、既存店舗の競争力向上を目指した改装投資は堅調に推移いたしました。このような状況のもと、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を活かしたトータル提案を強化するとともに、スライド棚やセルフレジに対応したカウンター等の製品を展開する等、省人・省力化の新しい需要の取り込みに努めたことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は横ばい、利益は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、47,225百万円（前年同四半期比0.4%減）、セグメント利益は、928百万円（前年同四半期比41.4%増）となりました。

▶ その他（物流システム事業他）

物流システム事業につきましては、人手不足を背景とした省人・省力化への要望は強く、また、卸・小売業のネット通販の拡大などにより、自動倉庫の需要は高水準に推移いたしました。このような状況のもと、優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な提案活動を展開するとともに、エンジニアリング体制の強化にも努め、売上高の拡大と安定的な利益確保に向けて取り組んだことにより、受注は順調に推移いたしました。物件の端境期にあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は微増、利益は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、9,775百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント利益は、735百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。

配当金についての基本方針

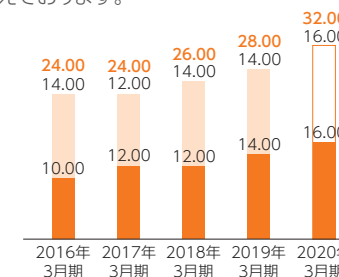
当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置付けております。

利益配当政策につきましては、業績に応じた適正な利益配分を目指すと同時に、財務状況、将来の事業展開及び内部留保などを総合的に勘案し、安定配当の維持にも努めてまいりたいと考えております。

■ 配当金

第85期中間
(年間32円)

単位：円
■ 中間
■ 期末
□ 予想



※ 2016年3月期につきましては、創立70周年記念配当4円を含みます。

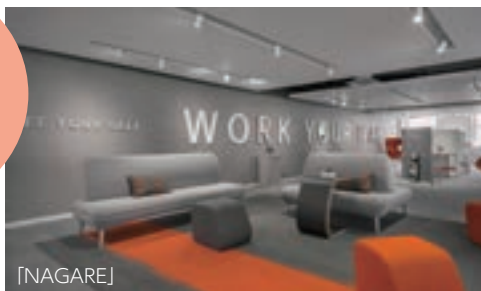
TOPICS

01

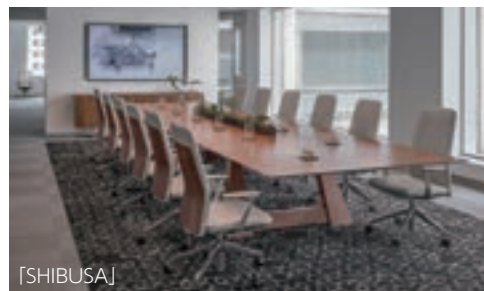
「NeoCon2019」 出展



「NAGARE」は、INTERIOR DESIGN誌主催「HIP Award 2019 at NeoCon」ワークプレイスソファ部門を受賞



「NAGARE」



「SHIBUSA」

6月10日～12日、「NeoCon 2019」に出展しました。「NeoCon」(The National Exposition of Contract Furnishings)は、1969年から毎年米国・シカゴのマーチャンダイズマートで開催されている北米最大の商業インテリア展示会です。今回は、海外のデザイ

ナーとコラボレーションした家具として、デザインスタジオRainlightのデザインによるソファシリーズ「NAGARE (ナガレ)」と、デザイナーRichard Holbrook氏によるカンファレンスチェア「SHIBUSA (シブサ)」をメインに展示しました。

シカゴ支店、ショールームをリニューアル

オカムラは2008年より、マーチャンダイズマートにシカゴ支店、ショールームを開設しています。今回、「NeoCon 2019」の開催に合わせて同建物内で移転し、面積をこれまでの1.7倍の広さ(1,061㎡)に拡張しました。リニューアルしたショールームで、ワーカーのパフォーマンスと快適性が向上するオフィス家具や働く空間を提案し、グローバル企業としての価値向上に努めます。



TOPICS

02

「2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展」 出展



9月3日～9日の7日間にわたり、東京・渋谷ヒカリエをメイン会場に「2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展(通称:超福祉展)」が開催されました。オカムラは、オフィスなどの室内空間を自由に移動できる電動駆動付きチェア「Weltz-EV (ウェルツ イーヴイ)」と、座ったまま足こぎでスムーズに移動できる「Weltz-self (ウェルツ セルフ)」を展示し、連日多くの反響がありました。

TOPICS

03

「JASIS2019」 出展

9月4日～6日、幕張メッセ国際展示場で開催された「JASIS 2019 (最先端科学・分析システム&ソリューション展)」に出展しました。オカムラブースでは、「ラボワーカーの働き方改革」をテーマに、オカムラの考える「働き心地のよいラボ」を提案。「自分好みに可変できる」「良い環境で実験したい」「実験に集中したい」などの意見を反映し開発された、全く新しい発想のラボシステム「PISTE (ピスト)」を発表しました。





空間データの協創プラットフォーム「CRESNECT」を活用した 未来のオフィス空間「point 0 marunouchi」開設

「point 0 marunouchi」は、空間データの協創プラットフォーム「CRESNECT」の第1弾プロジェクト^(※)である「未来のオフィス空間」を実現していくための会員型ワークスペースです。2019年7月16日、東京・丸の内にオープンしました。今回新たにアサヒビール株式会社、TOA株式会社、TOTO株式会社、パナソニック株式会社、株式会社My City

の5社がプロジェクトに加わり、各社の最新技術やデータ、ノウハウを活用し、オープンスペースや会議室、仮眠ブースなどにおいて、多様な働き方に合わせた空間コンテンツを導入しています。実際に働く人の動きや生体情報、設置機器などの運転データを収集・分析し、コンテンツの高度化や新しいサービスの創出に取り組んでいます。

(※) 株式会社オカムラ、ソフトバンク株式会社、ダイキン工業株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、三井物産株式会社、ライオン株式会社が2018年7月30日に共同発表した、空間データの協創プラットフォーム「CRESNECT」を活用し「未来のオフィス空間」づくりを目指すプロジェクト

事業別セグメントの概況 | Performance Results by Segment

第85期 第2四半期 財務ハイライト (連結)

売上高

1,184億円 (前年同四半期比 0.3%減)

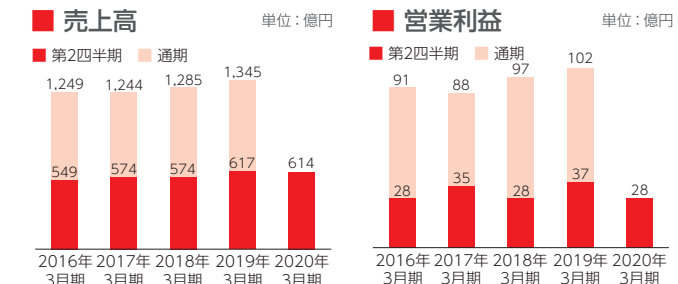
経常利益

52億円 (前年同四半期比 14.0%減)

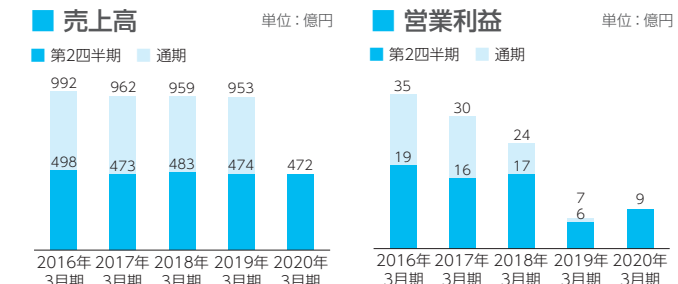
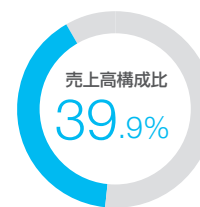
親会社株主に帰属する四半期純利益

34億円 (前年同四半期比 29.2%減)

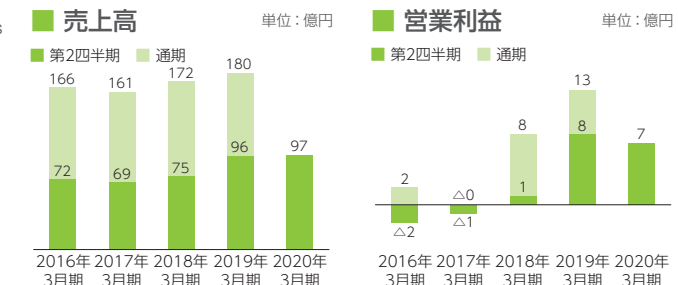
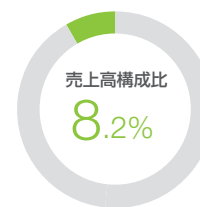
オフィス環境事業 | Office Furniture



商環境事業 | Store Displays



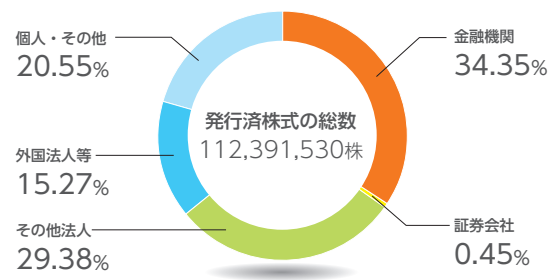
その他 (物流システム事業他) | Material Handling Systems and Others



株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	112,391,530株
株主数	5,537名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,333	9.37
三菱商事株式会社	6,300	5.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,288	5.70
オカムラグループ従業員持株会	5,911	5.36
明治安田生命保険相互会社	5,436	4.93
日本製鉄株式会社	5,313	4.82
株式会社三菱UFJ銀行	4,805	4.36
三井住友海上火災保険株式会社	4,236	3.84
オカムラ協会持株会	3,650	3.31
株式会社横浜銀行	2,853	2.59

(注) 持株比率は、自己株式(2,067,281株)を控除して計算しております。

会社概要

設立	1946年7月
資本金	186億円
登記上本社	横浜市西区北幸二丁目7番18号
本社事務所	横浜市西区北幸一丁目4番1号
従業員数	3,600名

取締役及び監査役

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役(社長執行役員)	中村 雅行	
取締役(専務執行役員)	菊池 繁治	オフィス営業本部長
取締役(専務執行役員)	土志田 貞一	コーポレート担当役員
取締役(専務執行役員)	山本 文雄	商環境事業本部長
取締役(常務執行役員)	山木 健一	生産本部長
取締役(執行役員)	福田 栄	コーポレート担当役員
取締役(社外)	塚本光太郎	三菱商事常務執行役員 総合素材グループCEO
取締役(社外)	浅野 広視	
取締役(社外)	伊藤 裕慶	㈱キーストーン・パートナーズ社外監査役
監査役	荒谷 克典	
監査役	岩田 寿一	
監査役(社外)	鈴木 祐一	弁護士
監査役(社外)	岸上 恵子	公認会計士

執行役員

地位	氏名	担当
常務執行役員	金子 肇	海外営業本部長
上席執行役員	井上 健	商環境事業本部 東日本営業本部長
上席執行役員	田尻 誠	物流システム事業本部長
上席執行役員	牧野 博	テレコム営業本部長
上席執行役員	酒徳 真司	商環境事業本部 西日本営業本部長
上席執行役員	河野 直木	オフィス営業本部 首都圏営業本部長
上席執行役員	荒川 和巳	マーケティング本部長
執行役員	山下 佳一	物流システム事業本部 マーケティング部長
執行役員	佐藤 喜一	コーポレート担当役員
執行役員	近藤 岳文	ヘルスケア事業本部長
執行役員	栗原 実良	生産本部 第二事業部長
執行役員	大野 嘉人	オフィス営業本部 働き方コンサルティング事業部長

当社の主要な工場

追浜事業所	(神奈川県横須賀市)
高島事業所	(山形県東置賜郡高島町)
つくば事業所	(茨城県つくば市)
富士事業所	(静岡県御殿場市)
御殿場事業所	(静岡県御殿場市)
中井工場	(神奈川県足柄上郡中井町)
鶴見事業所	(神奈川県横浜市)
パワートレーン事業部	(神奈川県横須賀市)

当社子会社の主要な営業所及び工場

営業拠点	会社名	所在地
営業拠点	奥カ姆拉(中国)有限公司	(中華人民共和国)
	Okamura Salotto Hong Kong Limited	(中華人民共和国)
	Okamura International(Singapore)Pte Ltd	(シンガポール)
製造拠点	株式会社関西オカムラ	(大阪府東大阪市)
	株式会社エヌエスオカムラ	(岩手県釜石市)
	株式会社山陽オカムラ	(岡山県高梁市)
	シーダー株式会社	(神奈川県横浜市)
	株式会社富士精工本社	(石川県能美市)
杭州岡村伝動有限公司	(中華人民共和国)	
その他サービス拠点等	株式会社オカムラ物流	(神奈川県横浜市)
	株式会社オカムラ サポート アンド サービス	(東京都千代田区)
	セック株式会社	(東京都中央区)

(他24社 合計36社)

主なショールーム・博物館

オカムラ ガーデンコートショールーム	(東京都千代田区紀尾井町)
オカムラ 仙台ショールーム	(仙台市青葉区花京院)
オカムラ 名古屋ショールーム	(名古屋市中村区名駅)
オカムラ 大阪ショールーム	(大阪市北区大深町)
オカムラ 福岡ショールーム	(福岡市博多区博多駅前)
オカムラ Visplayショールーム	(東京都千代田区内神田)
オカムラ いずの博物館	(東京都千代田区永田町)

▶ インターネットでオカムラの最新情報をご覧ください。
オカムラウェブサイト <http://www.okamura.co.jp/>

オカムラ 検索



株主メモ

決算期
3月31日

定時株主総会
6月下旬

基準日
3月31日

公告掲載新聞
日本経済新聞

株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

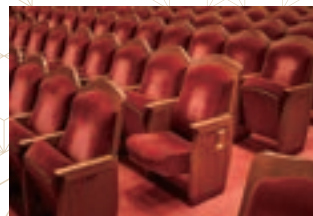
(ご注意)

- 株式に関する手続きのお届出先・ご照会先について
- 証券会社に口座を開設されている株主様は、口座を開設された証券会社等にお問合せください。
 - 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記、特別口座の口座管理機関の連絡先にお問合せください。

Case
Study

唐破風のモチーフを採用した美しく機能的な「客席イス」

京都四條「南座」



400年以上の歴史と伝統を併せ持つ日本最古の劇場、京都四條「南座」。2016年から耐震補強改修工事のため休館し、2018年11月に恒例の「吉例顔見世興行」で新開場しました。京都四條「南座」は、国の登録有形文化財に指定されていることもあり、改修にあたっては劇場内の意匠を1991年の改修時に照準を合わせて仕上げ直し、一部を復元しています。1階・2階の客席イスは一新され、これをオカムラが担いました。

客席イスは背もたれがメッシュ構造で、長時間座っても疲れにくく快適な仕様になっています。奥行方向をスリム化することで、以前よりも足元のスペースにゆとりが生まれました。

舞台上部に構える唐破風（からはぶ）の形状をモチーフにした背板のデザインは、移動時の手がけとしても機能するようになっています。さらに1階の客席イスは取り外し可能で、アリーナのようにフルフラット化でき、1階全面を舞台として使用することができます。部分的なフラット化も可能で、両花道を使う歌舞伎の演目や演劇、コンサートだけでなく、まったく新しいイベントの展開も可能になりました。

次世代に伝統を継承・発展させていくため進化した京都四條「南座」は、京の街により一層のにぎわいをもたらしています。

株式会社オカムラ

〒220-0004
横浜市西区北幸二丁目7番18号
TEL : 045-319-3401 (代)

人を想い、場を創る。

OKAMURA

